



2022年 ESGコーポレート・サマリー

# ティー・ロウ・プライスにおける ESGの取り組み

環境・社会・ガバナンス (ESG) コーポレート・サマリーでは、2022年におけるティー・ロウ・プライスの取り組みおよび今後の目標についてお伝えします。当社グループの2022年ESGコーポレートレポート (英語版) をはじめとする詳細情報は [こちら](#) からご覧いただけます。

特に明記のない限り、本レポートに記載されているすべてのデータは2022年12月31日時点のものです。本概要及び関連資料に記載の情報は、2021年12月29日付けでティー・ロウ・プライス・グループが買収したオルタナティブ・クレジット投資運用会社オーク・ヒル・アドバイザーズL.P. (OHA) に関する内容は含まれていません。

## 2022年の主な実績

環境		<p>温室効果ガス排出量を2025年までに2010年比で13%削減する目標を前倒して達成。</p>		<p>事業廃棄物の55%をリサイクルまたは堆肥化<sup>1</sup>。</p>		<p>Climate Vaultと提携し、業務出張から発生する温室効果ガスの排出量に対応するために排出枠を購入<sup>2</sup>。</p>
社会		<p>2022年は、当社の世界中の女性管理職の割合が33%となり、2025年目標を3年前倒して達成。</p>		<p>米国の従業員における少数民族・人種の比率は19%となり、2025年目標を3年前倒して達成<sup>3</sup>。</p>		<p>社員によるボランティア活動時間は合計2万8,700時間。</p>
ガバナンス		<p>ESG活動を取り巻くガバナンス体制を支援するグローバルの監督組織として、ESG監督コミTEEを設置。</p>		<p>ESGイネーブルメントチームを設置。事業戦略やESG投資能力に整合したESG戦略を部門横断的に一貫して展開・調整。</p>		<p>投資先企業と874件の個別のESGエンゲージメントを実施<sup>4</sup>。</p>

<sup>1</sup> 基礎廃棄物の数値は未監査で、推定に基づいている場合があります。当社所有施設の廃棄物は、実際の値に基づいています。報告データの無いリース施設の廃棄物は、従業員1人当たりまたは1平方フィート当たりの推定値を用いています。ビル運営からの廃棄物フローには、廃棄物の埋め立て、エネルギー回収、堆肥、リサイクルが含まれます。  
<sup>2</sup> ティー・ロウ・プライスは、2023年にClimate Vaultから排出枠を購入し、5,081トン (CO2換算) の二酸化炭素排出量に対応しました。この量は、2022年における当社の出張で使う航空・鉄道輸送による排出量とほぼ一致しています。上記は、当社の出張管理ポータルを通じて予約された出張データに基づいています。同ポータル外で予約された可能性のある出張は考慮されていません。  
<sup>3</sup> 少数民族・人種には、黒人、ヒスパニック系、ネイティブアメリカンが含まれます。  
<sup>4</sup> 合計には、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ (778件) 及びティー・ロウ・プライス・インベストメント・マネジメント (96件) が管理するエンゲージメントが含まれます。

## 受賞・評価<sup>5</sup>

<sup>5</sup> ティー・ロウ・プライスは、2023年にブルームバーグ男女平等指数 (GEI) に2度目の構成企業となりました。GEIは、時価総額加重指数 (修正済) であり、ジェンダーに関する情報開示に取り組み上場企業のパフォーマンスを追跡することを目的とした指標です。ティー・ロウ・プライスは、バロンズ誌の「2023年最も持続可能な100社」の31位にランクインしました。当社は金融サービス企業の中で2番目に高いスコアを獲得しました。同ランキングは時価総額ベースで米国上位1,000社を対象に、230種類のESGパフォーマンス指標で評価したものです。バロンズ誌の許可を得て掲載しています。

ニュースウィーク誌では、「2023年米国で最も責任ある企業」の選出において、各社が開示するサステナビリティレポートから、一般に入手可能な主要パフォーマンス指標に基づいて選出しています。加えて、米国民を対象に、企業の社会的責任に関連する活動に対するイメージについて尋ねる形で、企業の評判を評価する独立調査を実施しています。最終リストでは、14の業種で、米国で最も責任のある企業上位500社を認定しました。ティー・ロウ・プライスは、金融業の35社のうちの1社に選ばれました。

## 今後の目標

環境		<p>2025年未までに、社内におけるすべての使い捨てプラスチックの使用を排除。</p>		<p>2025年未までに、当社グループの世界中の施設で事業廃棄物ゼロを達成。</p>		<p>2040年未までに、スコープ1およびスコープ2の温室効果ガス排出量実質ゼロを達成。</p>
社会		<p>2025年未までに、多様性の拡大を目指し、当社の世界中の従業員の女性比率を46%、米国の管理職における少数民族・人種比率を10%に拡大<sup>6</sup>。</p>		<p>2025年未までに、米国の少数民族・人種が所有する企業および小規模で不利な立場にある企業へ、年間5,000万米ドルの支出を目指す<sup>7</sup>。</p>		
ガバナンス		<p>ESGの重要問題に関する開示を継続的に強化する。</p>				

## 当社が支持表明する機関・組織

WE SUPPORT

「**ティー・ロウ・プライスにおけるESGへの取り組みは、長年にわたり当社の価値観に組み込まれてきました。新たな洞察や科学がESG戦略の進化を告げる一方で、当社のコミットメントを定義してきたコアバリューは、今後も変わらず維持されます。**

**Rob Sharps**  
 ティー・ロウ・プライスCEO兼社長

ティー・ロウ・プライスのESG関連情報や方針、顧客や社員、地域社会に対する取り組みについての詳細情報は、以下のセクションおよび [当社コーポレートサイト \(英語\)](#) をご参照ください。

- 企業の社会的責任 >

多様性、平等性、包摂性 >

ティー・ロウ・プライスにおけるESGの取り組み >

表示されている商標は、それぞれの所有者に帰属します。ティー・ロウ・プライスがこれらの商標の所有者を支持、承認、提携するものではありません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE, INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊 (ビッグホーン・シッフ) のデザインは、ティー・ロウ・プライス・グループ・インの商標または登録商標です。